

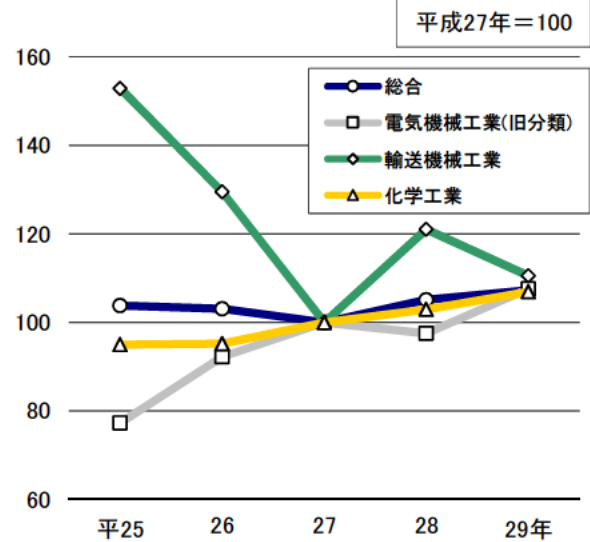
# 鉱工業

## 鉱工業生産の動き

平成29年の鉱工業生産指数(原指数)の年平均は107.3(平成27年=100)で、対前年比2.1%の増加となりました。

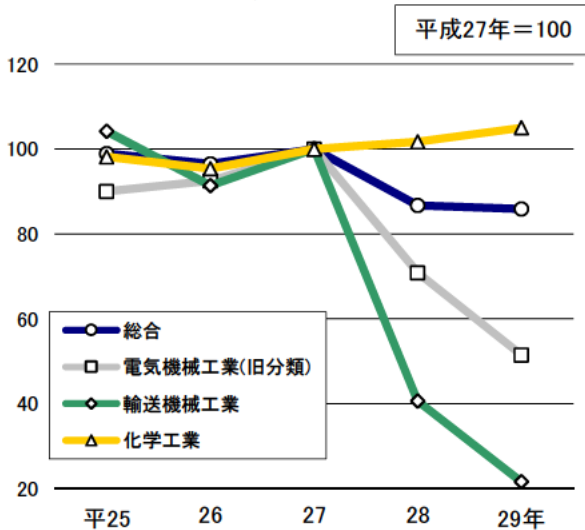
主な業種をみると、電気機械工業(旧分類)107.6(対前年比10.4%増)、輸送機械工業110.5(同8.7%減)、化学工業106.9(同3.9%増)となっています。

図21 鉱工業生産指数(原指数)



資料 県統計課  
「鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き」

図22 鉱工業生産者製品在庫指数(原指数)



資料 県統計課  
「鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き」

平成29年鉱工業生産者製品在庫指数(原指数)の年平均は85.9(平成27年=100)で、対前年比0.9%の減少となりました。

主な業種をみると、電気機械工業(旧分類)51.5(対前年比27.4%減)、輸送機械工業21.6(同46.8%減)、化学工業105.0(同3.2%増)となっています。

## 平成29年工業統計調査結果

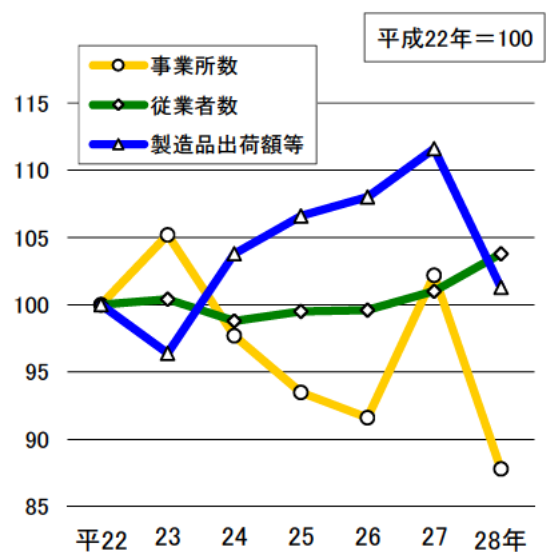
(従業員数4人以上の事業所が対象)

### (1) 概況

平成29年6月1日現在の事業所数、従業員数、平成28年1年間の製造品出荷額等を指数(平成22年=100)で見ると、事業所数87.8(対前年比14.1%減)、従業員数103.8(同2.7%増)、製造品出荷額等101.3(同9.2%減)となっています。

※図23の事業所数、従業員数：平成23年は平成24年2月1日現在、平成27年は平成28年6月1日現在の数値(ともに経済センサス活動調査(製造業)の数値)。平成28年は平成29年6月1日現在、その他の年次は同じ年の12月31日現在の数値(ともに工業統計調査の数値)。

図23 事業所数、従業員数、製造品出荷額等の推移



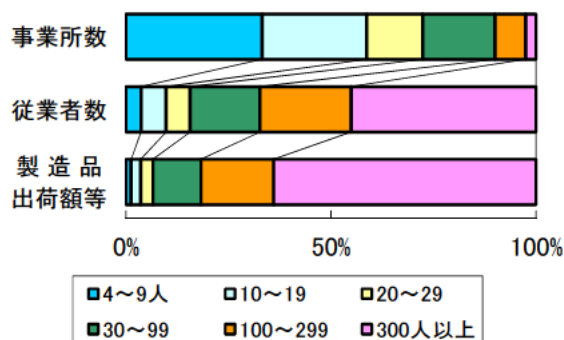
資料 県統計課「三重の工業」

(2) 従業者規模別にみた工業のすがた

平成29年6月1日現在の事業所数、従業者数及び平成28年1年間の製造品出荷額等を従業者規模別で見ると、事業所は従業者規模の小さいものが大半で、従業者4～9人の小規模事業所が構成比で全体の33.2% (1,162事業所) を占めていますが、従業者数では全体の3.7% (7,277人)、製造品出荷額等では同1.3% (1,333億円) となっています。

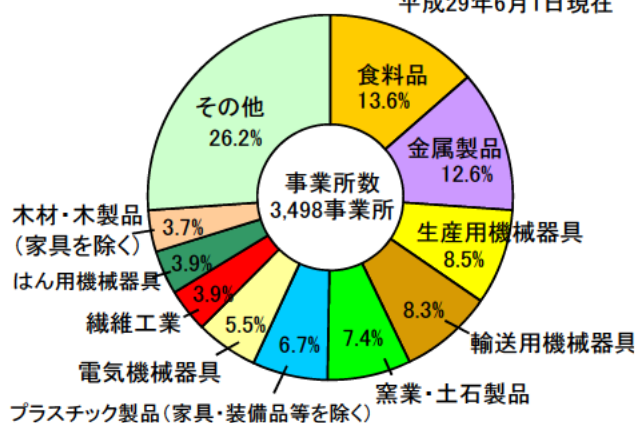
これに対して、従業者300人以上の大規模事業所は構成比で2.5% (88事業所) ですが、従業者数では全体の45.1% (88,981人)、製造品出荷額等では同63.9% (6兆3,256億円) を占めています。

図24 従業者規模別状況



資料 県統計課「三重の工業」

図25 業種別事業所数・従業者数、製造品出荷額等割合  
平成29年6月1日現在



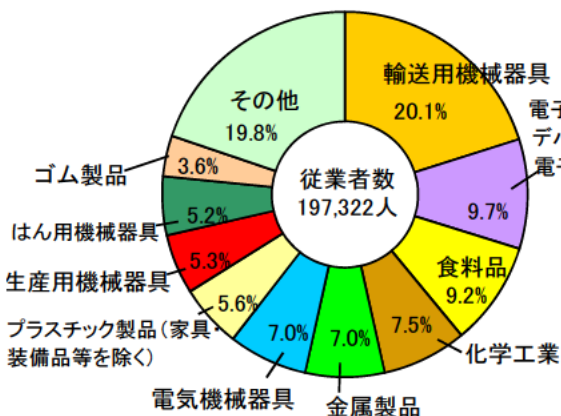
(3) 業種別にみた工業のすがた

事業所数では食料品製造業の占める割合が13.6% (476事業所) で最も高く、次いで金属製品製造業が12.6% (440事業所)、生産用機械器具製造業が8.5% (298事業所) などとなっています。

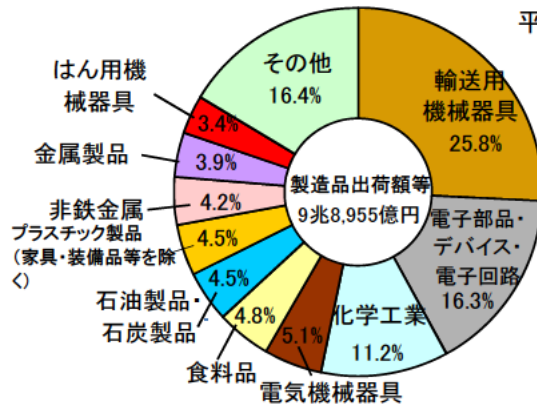
従業者数では、輸送用機械器具製造業が20.1% (39,609人)、電子部品・デバイス・電子回路製造業が9.7% (19,101人)、食料品製造業が9.2% (18,179人) などとなっています。

製造品出荷額等では、輸送用機械器具製造業が25.8% (2兆5,500億円) と最も高く、次いで電子部品・デバイス・電子回路製造業が16.3% (1兆6,127億円)、化学工業11.2% (1兆1,061億円) などとなっています。

平成29年6月1日現在



平成28年



資料 県統計課「三重の工業」